

キリスト教保育

年主題

共に喜んで

～すべての歩みの中～

この夏の

編集委員会チャンネル

うたおう! わらべうた

保育者のための礼拝

今年
は開催!

夏期講習会!!

礼拝のお話 旧約聖書から
菰田とみ子

夏の保育実践から学ぶ
一番町保育園・金城学院幼稚園



2021 JUL

7

おのこの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。

口語訳聖書・ピリピ人への手紙2章4

今月の聖句は、人間の成長やその目指すものが何であるかということを考えさせられます。パウロは「自分のことばかりではなく、他人のことも考えなさい」と言っています。「自分のことは考えず、他人のことを考えなさい」と言っていない。「自分のこと」を考えることを否定はしていないのです。「自分こと」を考えることは、大切なことなのです。人間の成長は、「自分こと」から始まります。「自分」がしっかりしないと「他人」のことを考えることはできません。

私たちは、自分を愛してみ始めて、他人が何を求めているのか、どんなことを喜んでくれるのかを、知ることができます。自分を愛し、自分を大切にしたことのない人は、いつか欲求不満を持つようになり、他人を傷つけてしまうことがあるのです。人は、まず、自分を愛することから始めなければならないのです。

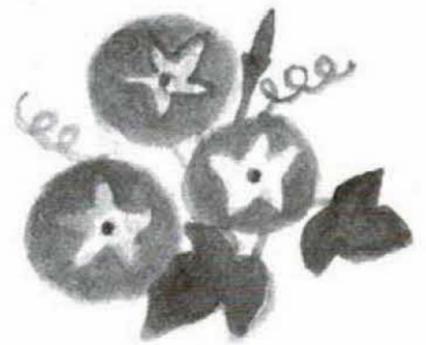
人生の第一歩は「自立」から始まります。子どもは「自立」し始めます。一人になり、自分で考え、自分を知り、自分でいろいろなことができるようになります。「自立」は、子どもの、人間としての〈旅立ち〉です。「自分のこと」を考えることは、いけないことどころか、人生の大切な第一歩です。しかし、そこには、ひとつの誘惑も待ち受けています。それは「自分のことばかり」考えるという誘惑です。「自立」と「利己主義」とは一緒にできません。創世記には、アダムとエバが誘惑に陥るところが記されています。アダムとエバは、禁じられた実を食べて賢くなった結果、自己弁護と自己防衛はうまくりましたが、他人を傷つけ、他人を罪に陥れるような人間になってしまいました。子どもにも「自分のことばかり」考えようとする誘惑があることを忘れてはならないでしょう。そのことを知った上で、育てていくのです。

パウロは言います。「自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい」と。「考えなさい」は、原文では「見つめる」「注意を払う」という意味です。他人のことが自分の視野の中に入っていなければなりません。「自分」の世界から目を転じて、自分の隣にいる人が、何を喜び、何を悲しみ、何を求めているかを、注視することが求められているのです。

子どもたちが、自分のことばかりではなく、他人のことも考える「思いやり」の心が育ったなら、どんなに素晴らしいことだろうかと思えます。キリストの心を心とし、他人のことを「思いやる」教育がどんなに大事かと思えます。

岡本不二夫・執筆 当時・日本キリスト教団平塚教会牧師 附属平塚二葉幼稚園園長
1986年「キリスト教保育」誌7月号より

表紙絵
カット
田中禎子
長野祥三
中畝治子
金井ユリ
長縄えいこ
松成真理子



幼子とともにキリストへ

目次

〈巻頭言〉

動物と保育 小野可奈子

〈論説〉

愛着障がいを考える 帆足暁子

〈小論〉

子どもの姿を「語り合う」

園内研修 高嶋景子

聖書にきく・お話 後宮敬爾

2 3 4 6 14 18

キリスト教保育

第628号7月号

年主題

共に喜んで

～すべての歩みの中～

【カリキュラム】

7月 月のねがい表

心にとめて 犬童れい子

0・1・2歳児 一番町保育園

実践からの学び 大久保めぐみ

子どもと保育者

はじめてお祈りのために

心にとめて 田中洋子

3・4・5歳児 金城学院幼稚園

実践からの学び 岡田直美

〈連載〉 保育者する人々への

12のメール 石丸昌彦

〈連載〉 ええやん、

わらべうた！ 田中元気

図書紹介 金俊美 日比野直子

礼拝のお話 菰田とみ子

目福 口福 耳福 小倉朋子

風 長山篤子／編集集子 東義也

連盟だより

21 22 24 30 31 32 34 41 42 44 47 48 58 59 60

